

# 難民支援 NGO “Dream for Children” 2012 年度活動報告書



## 目次

ご挨拶	2
現在のチベットの状況	3
現在のビルマの状況	5
2012年度の活動	7
2012年度会計	11
付録：チベット難民の生徒からのメッセージ	12

## ご挨拶

2012年、インドのチベット難民街でとあるお婆さんに出逢いました。そのお婆さんは毎日のように涙を流していました。

2012年度はチベットにとって極めて厳しい1年でした。1年間に80人以上の人々が焼身自殺を行いました。1人の焼身自殺という重大事件が80回以上も起きたのです。これほどまでの数の焼身自殺は人類の歴史上前例がないと思います。

炎に包まれていった人が訴えていたことを心に留め、よりよい世界を創っていけるよう邁進していきたいと思います。

ビルマは変化が大きく、好転している部分もありますが、好転の影で起きている厳しい出来事もあります。

難民の人たちが安心して故郷に帰れる日が来るまで、長い目で見守っていただけますと幸いです。

代表 亀田浩史

## 現在のチベットの状況

### 【止まらぬ焼身自殺】

2011年から急増している焼身自殺が2012年度も続きました。チベット本土で82人も人の体が炎に包まれました。チベット人の人口が600万人ほどであることを考えると、この数は異常です。彼らは、チベットの自由とダライ・ラマ14世のチベットへの帰還を求めています。

亡命チベット人の指導者は、焼身自殺を思いとどまるよう訴えていますが、焼身自殺は止まりません。チベット本土では情勢統制が厳しいことから、亡命チベット人指導者の声が届いていない可能性もあります。

焼身自殺の情報を海外に伝えたとされる人々の逮捕・投獄も相次いでいます。これまでに、少なくとも10人が秘密裁判の末、実刑判決を受けています。また、中国当局が焼身自殺者の家族に賄賂を渡し、「焼身自殺の原因が家庭内の問題である」と証言するよう強要した事例も見られました。

焼身自殺が相次ぐ地域には外国人の立ち入りは禁止されており、現地の正確な情報を得るのは難しくなっています。

### 【海外へのアピール】

このような厳しい状況から、チベット亡命政権は海外政府へのアピールを加速させています。2012年4月には、ロブサン・センゲ首相が首相として初めて来日し、日本人議員を前に講演しました。また、ダライ・ラマ14世も初めて日本人議員を前に講演しました。

### 【チベット難民街の物価急上昇】

チベット難民が多く暮らすインドのダラムサラの物価が急上昇し、人々の生活を圧迫しています。物価の上昇に抗議してストライキも起きました。

## 【激減する亡命成功者】

中国当局が国境の警備を強めており、亡命に成功する人が激減しています。チベットからはまずネパールへ亡命するのが通常ルートですが、ネパール政府が中国政府に協力する姿勢を見せており、亡命は極めて難しくなっています。



焼身自殺を遂げたチベット人に祈りを捧げるチベット亡命政権ロブサン・センゲ首相



チベット難民歌手が集った焼身自殺者追悼コンサート

## 現在のビルマの状況

### 【進む民主化】

2012年に行われた補欠選挙で、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が初めて議員に当選しました。その後、スーチー氏はパスポートを取得し、6月にはイギリスでダライ・ラマ14世と会談しました。また、日本にも、2013年4月に訪問予定となっています。

政府は政治犯の釈放、メディア規制緩和などを含む民主化を推し進めています。民主化の進展を受け、欧米諸国がこれまでビルマに対して科してきた制裁を緩和しています。

しかし、亡命先から帰国した途端に逮捕される人が出るなど、難民がすぐに安心して帰国できるような状況にはまだ達していません。

### 【少数民族との和解】

ビルマ政府は多くの少数民族と平和協定を締結しました。難民支援 NGO “Dream for Children” 支援先のビルマ東部に多く暮らすカレン人とも停戦協定が結ばれました。停戦協定後は大規模な戦闘は起きなくなっていますが、小規模な小競り合いは時折起きています。

一方、政府は北部に暮らすカチン人とは停戦協定の締結に至っていません。2013年1月、政府軍はカチン人に空爆を行うなど、大規模な攻撃を続けています。

### 【仏教徒とイスラム教徒の衝突】

2012年6月、西部のラカイン州で、仏教徒のラカイン人とイスラム教徒のロヒンギャ人の激しい衝突が起きました。この衝突による死者は180人、家を追われた人は10万人超と推定されています。

また、2013年3月には中部のメイティラでも仏教徒とイスラム教徒の衝突が起きました。この衝突では死者43人、家を追われた人が1万2千人程度となっています。



タイで暮らすビルマ難民。まだ彼らが故郷に戻れる状況にはない。

## 2012 年度の活動

	国内の活動	現地の活動
4月		
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チベット写真展（長野）</li> <li>講演「チベット本土と、ヒマラヤを越えた子供たちの現状について」（長野）</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャリティ英語セミナー（名古屋）</li> </ul>	
7月		インドのチベット難民街での支援活動
8月		<ul style="list-style-type: none"> <li>物資支援</li> <li>英語教育</li> <li>現地調査</li> </ul>
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドコラボフェスタ出展（名古屋）</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャリティ英語セミナー（名古屋）</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Hand in Hand みえの地球市民出展（津）</li> <li>国際協力セミナー「ヒマラヤを越えたチベット難民が暮らす街を訪ねて」（名古屋）</li> <li>新刊「故郷を追われるチベット人遊牧民」発売</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際人養成事業「名古屋 TOEIC 道場」始動</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャリティ英語セミナー（名古屋）</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際協力セミナー「今あなたに届けたいチベット難民からのメッセージ」（名古屋）</li> </ul>	

## 国内の活動

国内では難民問題の啓発活動に重点を置いて活動を継続しています。

### 【書籍】

2012年度は、「故郷を追われるチベット人遊牧民～定住化政策の光と影～」を出版しました。

印刷に際しては、これまではチベット難民を雇用しているインド人の印刷会社を使っていましたが、チベット難民に直接収益が渡るよう、今回は、チベット難民が立ち上げた印刷会社を使用しました。

### 【講演会、展示会】

2011年度は3回の講演会と、2回の展示会への出展を行いました。講演会では現地で行った難民へのインタビューを交えながら、ホットな情報を提供しています。これまで講演会参加者の94%の方に、「非常に満足」、「満足」とご回答いただきました。

また、展示会では、チャリティ似顔絵や新規のフェアトレード品の販売なども行いました。

### 【ブログでの啓発活動】

現地のメディアのニュースのうち日本のメディアが取り上げない情報をメインに提供しています。2012年度もブログの内容がYahoo! ニュースで取り上げられました。また、アクセス数も100万を突破しました。

### 【国際人養成事業：名古屋 TOEIC 道場始動】

国際的に活躍できる人材の育成を目的として、名古屋 TOEIC 道場を始動しました。今日本で多く利用されている TOEIC ですが、TOEIC のレベルでは国際的に通用するのは難しいと思います。TOEIC のレベルから脱却して、国際的に活躍できる人を増やしていくことを念頭に活動しています。

## 現地の活動

ビルマ東部と比較してチベット情勢が著しく悪いため、インドのダラムサラにあるチベット難民街で集中的に活動を行いました。

### 【物資支援】

文具、衣類、英語に翻訳した日本語の絵本を、チベット難民の子供たちが暮らす Tibetan Children's Village へお届けしました。

### 【教育支援】

言葉の問題で就職が難しい大人のチベット難民への英語教育を継続しています。なるべく早く職にありつく必要があり、多くの人が数ヶ月で英語をマスターしていきます。これまでに 30 人以上が英語を身に付けて社会に羽ばたいてきました。今のチベットの状況を物語るかのように、日本の中学生レベルの英単語しか知らない生徒でも「焼身自殺」の英語訳を知っていました。

また、現地を訪れた外国人に対し、放課後の空き教室を使ってチベット難民の置かれている状況の啓発活動を行っています。

### [学校のトピック 1]

2012 年 8 月、チベット難民の生徒ツェワン・ドンドゥプがラカル賞を受賞しました。この賞は、「チベット人が直面する問題のために、勇気ある行動をとった個人、革新的な行動をとった個人、たゆまぬ貢献をした個人」に与えられる賞です。ツェワン・ドンドゥプは、チベットで平和的な抗議活動行っている最中、中国警察の無差別発砲を左腕に受け、左腕はまったく動かなくなっています。彼は、動かない左手を見せながら、今チベットで起きていることを訴え続けています。

### [学校のトピック 2]

9 月には、かつてこの学校で学んだラモ・ツォの夫ドンドゥプ・ワンチェンが 2012 年国際報道の自由賞を受賞しました。ドンドゥプ・ワンチェンは、チベットでインタビューを行い、映画化しただけで逮捕され、懲役 6 年の刑に処されています。ラモ・ツォは現在、子供をインドに残したままアメリカに渡り、夫

の釈放を訴えています。

#### [学校のトピック 3]

チベットでの大震災が相次いでいることから、震災に関するお話を震災の研究者にいただきました。

#### [学校のトピック 4]

チベットで伝統的に使われる5色の旗に、平和を祈る絵とメッセージを書きました。完成した旗は国連本部のあるニューヨークに飾られています。

2013年度は英語教育に加え、PC教育、医療教育を展開する予定です。

#### 【聞き取り調査】

難民の方への聞き取り調査を続けていますが、中国・ネパール国境の警備が強化されており、新たな難民の数が激減しています。最新のチベットの状況を新たな亡命者から聞くのが非常に難しくなっています。

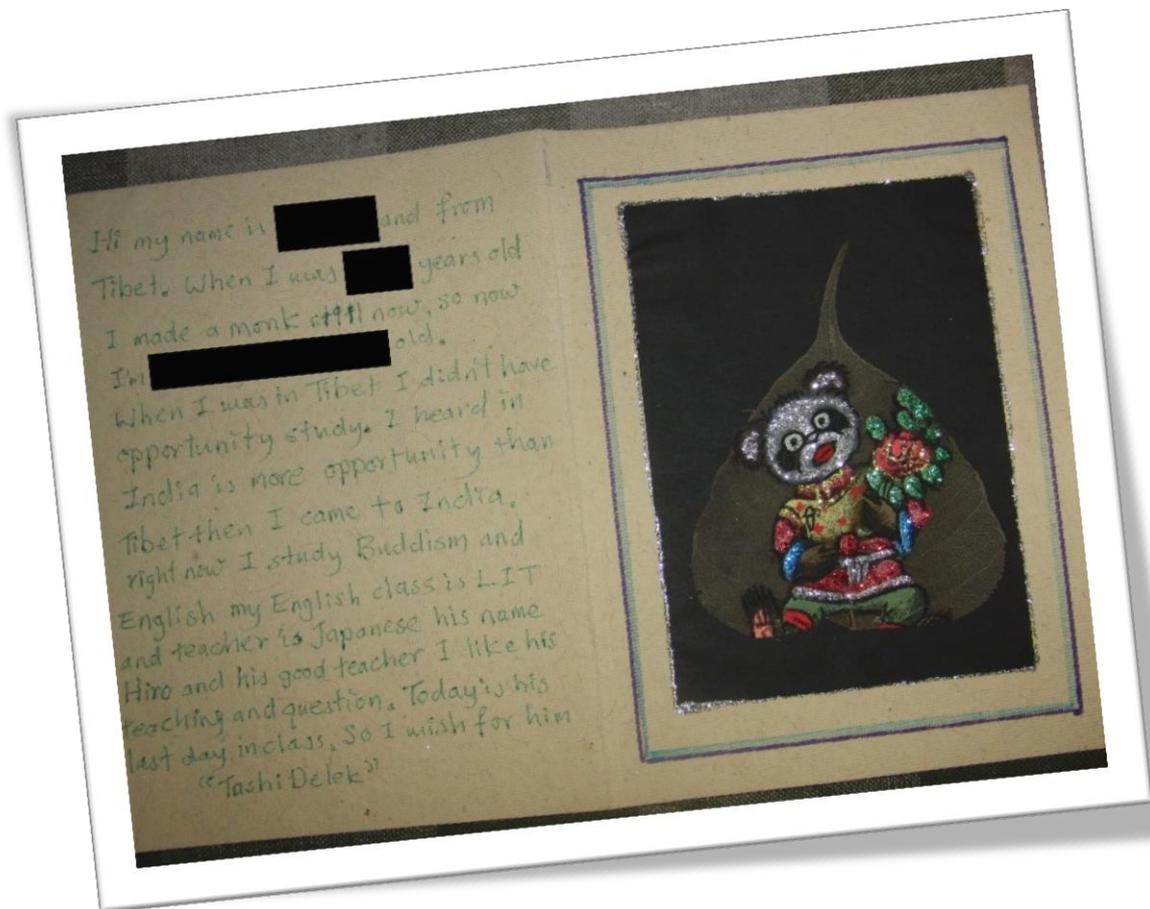


## 2012 年度会計

単位 [円]

前年度繰越	▲ 499,339
収入	
事業収入	617,759
会費収入	85,000
寄付（一般寄付）	1,000
寄付（現地支援寄付）	38,784
計	742,543
支出	
啓発事業費	123,456
海外事業費	47,477
国際人養成事業費	97,419
現地への寄付	147,664
旅費・交通費	116,817
管理費	53,549
広告費	7,961
印刷費	58,591
送料	21,688
計	674,621
今年度収支	67,922
次年度繰越	▲ 431,417

## 【付録：チベット難民の生徒からのメッセージ】



私の名前は〇〇です。チベットの生まれです。△歳のときに出家し今にいたっており、現在、□歳です。

チベットにいた頃は勉強の機会にめぐまれませんでしたが、インドの方が勉学の機会に恵まれていると聞いて、インドにやって来ました。

現在、仏教と英語を学んでいます。英語はLIT（チベット難民の学校）で学んでいます。先生は日本人のヒロです。彼の教え方と彼が出す質問が好きです。

今日は彼の最後の日です。彼に幸福があることを願っています。